



志賀高原
ユネスコ
エコパーク

信州 たかやま議会

140号

2022年10月25日

発行／高山村議会

発行責任者／西原 澄夫

編集／議会報編集特別委員会



高山村に新しい保育園が開園しました。
「ごどもをまんなか」
愛溢れる保育を実現されています。

【9月定例会】

9月定例会…………… 2

10月臨時会…………… 3

令和3年度決算審査特別委員会… 4-5

一般質問(11名)…………… 6-11

議会活性化特別委員会…………… 11

【わたしの声】

○なないろのにわ のの花ほいくえん○

安西美由紀さん…………… 12

一般質問

道路改修工事／マイナンバーカード／地域おこし協力隊／空き家対策／公民館改築／ゲノム編集トマト／村の名前の改名／公共交通網／中学生部活動／電車通学費補助／健康保険事業／子ども達の教育推進／蕨温泉／鳥獣害対策／国葬／子ども達の居場所／学校給食／医療費無料化／帯状疱疹ワクチン／「旧統一教会」との関係 など



今定例会より、議会一般質問の様子がいつでもYouTubeで見られるようになりました！
左のバーコードを読み込むか、スマホもしくはPCで「高山村村議会一般質問」と直接入力してアクセスしてください。

令和4年9月定例会 令和3年度決算を認定

9月定例会

令和4年9月定例会は、9月1日から16日までの16日間の日程で開催されました。今定例会は令和3年度一般会計等の決算の認定9件、令和4年度補正予算などの議案4件、専決予算の承認1件、条例の一部を改正する条例2件が提案されました。3年度決算については、「決算審査特別委員会」を設置し、3日間にわたり審査を行い、一般質問には、2日にわたり11名が登壇し質問しました。

令和3年度決算9件

3年度の一般会計の決算は歳入で46億4,806万5,215円、前年度より15・7%8億6,582万6,616円の減、歳出決算額が43億4,020万5,650円で、前年度より17・1%8億9,780万2,793円の減となりました。繰越明許費分を差し引いた実質収支額は2億7,590万8,565円の黒字となっています。

また特別会計（国保・診療所・介護保険・後期高齢者医療・温泉開発・農業集落排水・下水道）と上水道会計の8件すべて黒字決算となっています。



条例の改正2件

◆高山村議会議員及び高山村長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の一部を改正する条例

この条例は選挙運動用ビラと選挙ポスター作成単価の上限額を改正するものです。

◆職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例

地方公務員の育児休業等に関する法律、育児休業を取得できない非常勤職員を規定することとしている。既定の整備では非常勤職員の取得要件が緩和されました。



発議

シルバー人材センターに対する支援を求める意見書

令和5年（2023年）10月に、消費税において、適格請求書等保存方式（インボイス制度）が導入される予定となっていますが、同制度が導入されると、免税事業者である会員はインボイス発行事業者に登録しない限り、センターは仕入税額控除ができなくなり、新たに預かり消費税を納税する必要があります。公益法人であるセンターの運営は収支相償が原則であり、新たな税負担の財源はありません。国におかれては、少額の収入しかないセンターの会員の取り扱い額がさらに減少することなく、センターにおいて安定的な事業運営が可能となる特例措置を講じるよう強く要望するものです。



条例改正は総務文教常任委員会、陳情は福祉産建常任委員会にて審議しました。

10月臨時会

村議会10月臨時会は10月6日(木)に開催されました。

今臨時会には、同意第2号から同意第4号までの3件が提案され、全員賛成で可決されました。また、選挙管理委員の選挙が行われました。

同意第2号 固定資産評価審査委員会の委員の選任につき同意を求めることについて
選任者 牧 秀美

同意第3号 教育委員会教育長の任命につき同意を求めることについて 選任者 澁谷 茂夫

同意第4号 教育委員会委員の任命につき同意を求めることについて 選任者 大草 茂雄

高山村選挙管理委員及び同補充員の選挙結果

《選挙管理委員》

森田 整 (新 堀)
望月千恵子 (松 南)
善哉 政雄 (駒 場)
宮川みさ子 (荻久保)



《選挙管理委員補充員》

①篠原恵美子 (赤 和)
②小山 新造 (久 保)
③山崎 幸司 (牧)
④毛利 貞子 (三 郷)



特別委員会



令和3年度決算審査特別委員会（湯本辰雄委員長、沖島祥介副委員長）は、9月8日、9日、12日の3日間で審査が行われました。採決の結果、すべての議案を原案の通り認定すべきものと決定しました。

総務課

問 村内にある202基の防火水槽は定期点検をしているのか。

答弁

毎年、点検を行い、水位が下がっているものは修理している。又、民有地にある防火水槽を更新する際、できるだけ公有地に移したい。

教育委員会

問 一茶館はコロナの影響で入館者が減少していると思われるが、一茶館のあり方や貴重な文化財の管理を今後どの様にしていくのか。

答弁

入館者の減少は課題であり、又貴重な文化財を守つ

て行く事も大切であると受け止めている。今後皆さんのお知恵をいただきながら大事に考えたい。



北側の茅葺きを修復予定の離れ家。

住民税務課

問 役場八十二銀行窓口についてどのような業務を行っているのか。また賃金は村で負担しているか。



庁舎内に設置されている八十二銀行の窓口。

答弁

八十二銀行職員は、月13日のペースで勤務し、業務は小切手を切つて債権に支払うチェック業務や窓口収入、納付書のチェック等に従事している。賃金は一般財源より支払っている。

健康福祉課

問 母子健康事業にある産後ケア事業の内容を伺いたい。又、長野市では宿泊ができ母親の負担とならない事業もよいのではないか。

答弁

産後ケア事業は、母乳のあげ方など助産婦が指導等

しており、出産前から保健師は母親にこの事業について周知している。長野市が取り組んでいる宿泊型も必要と考えている。今後検討したい。

産業振興課

問 りんご剪定作業の動画以外の物を製作する予定はあるのか。

答弁

DVD一〇〇枚製作し、ホームページにも掲載している。村のりんご生産量が減少している状況から、りんご剪定作業の動画のみを考えている。



現在ある剪定の動画。



令和3年度 決算審査



小学校隣りのおためし住宅。

建設水道課

問 おためし住宅について、維持管理に経費が掛かるが、今後どの様に使用してもらうか考えはあるのか。

答弁 就農体験されたい方のためにシェアハウス型で利用いただいている。おためし住宅の制度を広報等により広く周知したい。

反対討論

賛成討論

一般会計

反対
山寄議員

国がおしつけているマイナンバーカードを推進。学校給食費の完全無料化を実現していない、医療費の500円手数料を撤廃せず。にぎわいの場は大幅な見直しが必要。

一般会計の決算は、実質収支は2億7,590万円の黒字で、各種基金の積み立ては予定通り行われています。村民が希望を持ち安全・安心に生活できる村づくりに期待し賛成します。

賛成
勝山議員

国民健康保険特別会計

反対
山寄議員

公費負担増を国に要望するとともに、一般会計からの法定外繰り入れで、高い国保税を引き下げるべきだ。

村民の皆様の健康づくりを始め、生活習慣病の予防に取組み、医療費の抑制を引続き要望しながら、賛成致します。

賛成
滝澤議員

滝澤 聖 議員



村道に接続する市道改修工事について

問 村道、千本松紫線、千本裏線は道路改修工事により8mの道幅となり整備されている。隣接する市道は道幅も6mと狭く、水路や度重なる工事により継ぎはぎの路面となつています。この道路は、村内の生産者がJAの須坂共選所に出荷物を運ぶ主要道路となつています。須坂市に対し道路に係る諸問題の協議を申し入れた経過はないのか。又、交差点改修の為、新道を作る計画はなかったのか答弁を求めます。

答 降進展していません。又、本村との境界から国道403号までの市道については、本線管理者であります。須坂市道路河川課に確認したところ、現時点において整備計画等はない、との回答をいただいております。

平成13年に本村と須坂市の行政境界付近の道路に係る諸問題を協議する為、両市村の地元関係区や、議会議員を初め、農政・建設所管課等で構成する「須坂市・高山村(道)連絡懇談会」が設置され協議がされました。当時は複数回の懇談会が開催されたとお聞きしましたが、その際、事業主体等の行政課題や負担金等の問題、更には事業効果や両市村の財政事情などから、以

建設水道課長

建設水道課長 平成13年に本村と須坂市の行政境界付近の道路に係る諸問題を協議する為、両市村の地元関係区や、議会議員を初め、農政・建設所管課等で構成する「須坂市・高山村(道)連絡懇談会」が設置され協議がされました。当時は複数回の懇談会が開催されたとお聞きしましたが、その際、事業主体等の行政課題や負担金等の問題、更には事業効果や両市村の財政事情などから、以



市道 相森千本松線。

沖島 祥介 議員



マイナンバーカード取得について

問 マイナンバーカードを取得することにより、喬木村のように、窓口で書類に記入しないで、口頭で処理できるシステムを導入できないか? また、将来はこのカード一枚あれば本村での生活が全てまかなえるようにできないか?

答 行政の効率化と、取得された村民の方々の利便性の向上が本来の目的である。現在はコンビニ交付の導入に向けて進めている。今後はオンライン化すべき業務の洗い出しを行い、村民のニーズに高いものを導入し、さらなる利便性の向上を図っていく。

住民税務課長

住民税務課長 行政の効率化と、取得された村民の方々の利便性の向上が本来の目的である。現在はコンビニ交付の導入に向けて進めている。今後はオンライン化すべき業務の洗い出しを行い、村民のニーズに高いものを導入し、さらなる利便性の向上を図っていく。



庁舎入口に設置したマイナンバーカード支援窓口。

役場庁舎に設置してある太陽光発電設備の余剰電力の活用について

問 余剰電力の活用を、土日祝日だけのEVスタンドの設置はできないか?

総務課長

総務課長 EVスタンドは制約があり難しい。余剰電力の有効活用については、土日祝日の公民館事業や図書室への活用の整備を早急に進める。

地域おこし協力隊について

問 村の費用はかからず、新しい発想で活性化に貢献、定住にプラス、結果、村が元気に! この「地域おこし協力隊」制度をなぜ、もっと積極的に利用しないのか?

答 本村における課題は多岐にわたり、解決策を見出すには、地域住民や事業者等も含めて、広く検討していく必要があることから、採用に当たっては十分な準備期間を設ける必要があるものと考えている。

総務課長

総務課長 本村における課題は多岐にわたり、解決策を見出すには、地域住民や事業者等も含めて、広く検討していく必要があることから、採用に当たっては十分な準備期間を設ける必要があるものと考えている。

「チャオルの森」マレットゴルフコースの整備について

健康福祉課長

健康福祉課長 今後、職員による巡回を定期的にを行い、利用しやすい施設づくりに取り組んでいく。

高井 央葉 議員



移住定住支援以外の空き家の対策は

問 助成金の交付対象規定の根拠、高山村で仕事をされている方で希望される方の住まいとしての空き家の活用、その他新しい施策の考えは。

定住支援室長 「空き家活用推進事業助成金」の交付対象者は定住人口の増加を図ることを目的として、一定の基準年数を定めている。また村が空き家を取得して利用することに関しては、取得ではない方法も含めて慎重に検討する必要がありと考えている。引き続き、空き家バンクのPRに努めるとともに、本村に相応しい空き家の活用について検討して参りたい。

公民館改築について

問 公民館改築になった経緯と根拠や現状についての村民への発信、災害やコロナなど社会情勢の変化による変更、改築と建替えの将来に渡る試算について問う。

教育次長 本村にふさわしい文化・創造・交流・学びを高めるための拠点施設として、改修を基本に据えて検討を進めていくこととし、本年8月より公民館改修検討委員会を立ち上げ、ご意見をいただいている。村民の皆さんに対しては、広報誌やホームページ等を活用しながら、情報発信に努めて参りたい。可能な限り事業費を抑え、長寿命化を図りながら進めていく。

ゲノム編集トマト苗無償配布への対応は

問 GABA高蓄積というゲノム編集されたトマトの苗を小学校などに無償配布する計画があるそうだが、村の認識と対応は。

産業振興課長

現時点では、事業者から小学校などに対して無償配布の話はないが、まだ開発途上の新技術であることや、安全性の認知の必要性などから、今後の動向に注視するとともに、無償配布にあつては、慎重に対応してまいりたい。

久保田 雄吉 議員



高山村の改名について

問 中学生議会から、村の名前を変えてほしいという提案が、2度も出されています。長野県の小さな村がいくら宣伝しても『飛騨高山』にはかきません。観光宣伝で1億人の日本人を変えるのではなく、村名の変更、つまり私たち村民7千人が変わるだけでいいのです。次の日から新聞やテレビの報道もすべて変わります。もちろん、議会で賛成多数で可決すればいいという訳ではなく、村民の皆さんの賛成があつてできることです。

『改名』というと、村の書類を書き換える大変な事務作業が必要！と思いがちだが、実は戸籍謄本や住民票の交付を行うコンピュータの変更と学校などの看板のかけ替えの費用があればよく、改名を県や国に届け出るだけです。子供達が都会へ進学や就職して、出身地を聞かれた時に『高い山の村』では説明に困るではありませんか。これは須坂や長野への進学や会社勤務の人も同じ様に感じていることではないでしょうか。

『山の村』そして『山奥の村』という間違つたイメージは、善光寺平にあるはずのこの村やわたしたち村民の名誉や尊厳にかかわる見過ごせない根本的な大問題だと思つたのですが、村はこのことをどの程度認識されているのか。

村長

昭和の大合併で生まれた村名は広く村民に親しまれており、村民の名誉や尊厳にかかわる問題とは認識していない。高山村を次世代に引き継いでいくことが私の務めであると考えている。



実は、高山村は県内では、標高が低い方の自治体である。

勝山 正弘 議員



公共交通網対策について

問 交通弱者への負担軽減として村は補助していますが、利用者が一割程度しかなく、本当の

意味で村として交通弱者の立場になつているのか疑問です。そこでさらに3点の質問をいたします。
 ①特に高校生の通学への補助は、利用申請が少なく低迷しているが、村は問題として捉えているのか？また、今後どう考えているのか？

②現在の高校生の通学補助は、路線バスに限定しているが条件の基準は？

③デマンドタクシーの適応範囲（利用可能なエリア）の限定は、村外での利用は認められず、買い物や病院への通院等も対応できないが、高齢者への立場に立っていないのではないか？

村長

①それぞれ家庭の事情に応じた通学方法を選択されていると思われまふ。地域公共交通を存続する為、利用される皆さんや村民の御意見をお聞き



現在利用されている長電バスとふれあい号。

し、施策を検討して参りたい。
 ②補助対象区間は、自宅の最も近いバス停から須坂駅までの区間のみで、他の公共交通機関や利用区間は補助対象としておりません。

③バスが走らない交通空白地帯を補完する交通機関であります。よって、利用化の範囲を拡大することは困難であります。

令和5年以降の次期計画の策定において、路線バスの維持継続の必要性や、費用対効果も含めて検討して参りたいと考えておりますので、ご理解賜りますようお願いいたします。

梨本 進 議員



中学生部活動の地域移行への道筋は

問 文科省より中学生部活動を学校指導から地域のクラブや民間団体などに移行すると提言さ

れた。教員の関わり方や保護者の負担、またクラブの指導者確保など多くの課題がある。教員の働き方改革と共に、生徒には希望豊かな部活動となるため、学校や関係団体との調整など、村が積極的に主導して早期に構築すべき。

教育長

中学生にとって、仲間とスポーツや文化活動に打ち込むことの教育的意義は大変大きい。地域の実態や生徒のニーズに合った部活動の構築や指導者の確保、地域移行推進の組織づくり等様々な課題がある。村では国の動向やモデル地区の成果や課題を見極め、スポーツ少年団や体育協会、文化協会、保護者、部活顧問、学校、教育委員会などで組織する「中学生スポーツ・文化活動運営委員会」を中心に地域と関係団体が連携し地域移行の協議を重ねていく。

高校生電車通学費への補助は

問 バス通学定期券に七割の補助をしているが利用者は少ない。電車通学費補助の拡大と公共交通の利便性向上を求む。

村長

平成30年度に地域公共交通の維持継続や利用促進に重点を置いた補助制度で、全体の12%の高校生しか利用されていないが、それぞれ家庭の実情に応じた通学方法を選択されている。高校生のいる家庭の経済的負担軽減を図るため、子育て家庭支援策の一つとして、年齢段階に応じた負担軽減について研究をして参りたい。



松本 茂 議員



村民の健康保険事業・健康診査について

問 ①国民健康保険、後期高齢者保険ともに医療費が増え県内順位が上昇傾向にあります。また生活習慣病においては糖尿病HbA1cの予防や、高血圧の病気の未治療に対する指導、運動や食生活の改善など保健指導と対応を求めます。

②第2期保険事業実施計画（データヘルス計画）第3期特定健康診査等実施計画中間評価によりデータヘルス計画の指標で示されている保険事業について、事業実績から評価を行っていますか。

健康福祉課長

①糖尿病や高血圧は、動脈硬化を進行させる病気で脳血管疾患・人工透析患者となるなど高額医療費がかかります。重症化リスクを予防するために保健師、栄養士の職員7名体制で医療機関への早期受診の勧奨や食事、運動などの指導、さらに本年度からハガキや電話、面談による受診勧奨に努めてまいります。

②平成30年度に策定した「第



保健指導を受ける地域の人達。

2期データヘルス計画」をもとに、令和2年度に中間評価をおこなった所、13項目の評価指標のうち、9項目が悪化し、4項目は改善される結果となりました。

健康づくりを支援する「健康ポイント事業」、健康出前講座や健康レシピの配布などの事業を行っています。さらに、国保データベースシステムを活用し、村の健康課題の分析や、事業評価見直しを行うPDCAサイクルに沿って事業を推進しています。村民の皆様健康寿命の延伸、医療費適正化を目指して、保険事業に取り組んで参ります。

柴田 弘男 議員



高山村の未来を担う子供達への教育を推進するための施策の対応は

問 児童生徒数の減少の中で、高山村版SDGsを踏まえ、具体的にどのような教育活動を行っていきたいか、教育委員会はどのようなビジョンをお持ちか。

①高山中学校の資源回収が終了することで村民の声はどうか、教育委員会の評価はどうとらえたか。

②子供たちの多くは、高校や大学進学、就職し故郷を離れますが、定年退職等様々な事情で人生の後半を迎えた時、高山村に戻っていただくために教育委員会はどのような教育活動を行っていくのか。

教育長

高山小学校・中学校はユネスコスクールに加盟し、信州ESDコンソーシアムに参加し信州大学教育学部において実践発表を行っております。小学校5年生は、地域の方に学びながら米づくりの体験や、わくわく村の活動、中学校では、「ふるさと高山村とわたし」村の良さ・安全で住み

やすい村・私の未来を考える活動等の実践を年次報告いたしました。

資源回収はコロナウイルス感染症の拡大に伴い、生徒会PTAや学校が協議し、中止としたことから、村民の皆さんにも一定のご理解をいただけると思っております。今後は、村の防災関係に視点を置き、防災倉庫の見学等を計画しております。

教育委員会では、ユネスコスクール加盟校の一員として、ESDの理念に沿って、地域の皆様のご理解やご協力をいただき、一人でも多くの子供たちが故郷に戻ってこれるよう教育活動や、魅力ある村づくりを推進してまいります。いと考えております。



SDGsは国連が掲げた17の「持続可能な開発目標」です。

湯本 辰雄 議員



わらび温泉の整備計画

問 わらび温泉は昭和63年に開業した。

①旧たちべりの後の業者選定はどうなっているか。

②駐車場や小川の改修、火の見櫓の配置換えなど、施設の整備計画の策定を求める。

村長

①わらび温泉は年間10万人の来場者がある。旧たちべりの建物は改修しなければならぬので、にぎわいの場構想で検討したい。

②8月9日に関係者と懇談した。施設整備は、関係者と連携して実施したい。



わらび温泉。

鳥獣害対策

問

①赤和では電柵の近くに電柱を立てたため、サルが電線を伝わって侵入している。

②電柵の間隔が出来ているので早期に調査を求める。

③縦横6m高さ3.2mの柵がある。

る。一網打尽できるサルの檻の設置を求める。

産業振興課長

①赤和のサル被害は樹木の伐採等処置した。

②電柵設置が困難なところはセンサーカメラ等設置して調査したい。

③過去にも檻の設置を行った。猟友会と連携して行いたい。

安倍元首相の国葬

問

7月8日、安倍元首相が街頭演説中に銃殺された。岸田首相は「安倍元首相の国葬」を行うと表明。

①現在国葬の法律はない。民主的手続きを踏まない「国葬」を、村長はどう考えるのか。

②村民に弔慰を求めるか。

③学校等へ弔旗掲揚を求めるのか。

村長

①政府が決定したことなので、コメントは控えたい。

②弔慰の表明は憲法により、国民の権利として保障されるものと理解している。

③国と同様、弔慰の強制はないと考える。

黒岩 清道 議員



村の鳥獣被害対策は

問 動物による被害が各地区で報告があり、問題となっている。

①被害の状況と対策はどのようになっているのか。

②高齢化が進み、電気柵や空き地・空き家の周りの雑木・雑草駆除が、悩みの種になっている。

産業振興課長

①クマはすでに5頭駆除しております。一方、サルの情報が最も多く、特に高井地区では被害の発生が常態化し、人家等に入り込むなど、危機的状況にあります。村民からの情報提供や有害鳥獣を寄せ付けない環境づくりにご協力頂くとともに、侵入防止対策と積極的な駆除及び経費への支援などに努めて参りたい。

②電気柵は大変重要な施設ですが、高齢化が進む中で除草

作業や維持管理経費の負担が重くのしかかっている地域が増えております。村では電気柵維持管理交付金を、本年度からは1km3万円に増額し、負担軽減を図っております。

子どもの居場所は

問 ①放課後の居場所、児童クラブの受入れ学年の変更が必要では。

②子供を支える組織や場所、例えば学校の空き教室や、空き家を開放するなどを考える時期かと思いますが。

③バス通学の、奥山田の子どもの達の補助を、小学校前まで出来ないか。

教育長

①学童聖徳園にも役割を担って頂きたいことから変更は難しい。

②管理運営の課題が多く難しい。しかし、子どもの居場所は、大きな課題であり、研究して参りたい。

③基準の見直しは現時点では難しい。今後、地域公共交通の見直しなどを注視し、ご意見を聞きながら研究していきたい。



電柵の上を渡るサルの群れ。

山 寄 秀 治 議 員



食品値上がりの学校給食への影響は

問 食品の値上がりが続いているが、学校給食への影響はないか。このまま食料品の値上がりが続けば、給食費の改定が避けられないが、保護者負担を増やさないよう求める。

村長 現時点では、コメ、パンや麺は現状の価格で納入している。ただ、ことになっていく。

次年度の給食費の見直しは慎重に判断していく。改定が見込まれる場合は、保護者への影響も考慮して検討する。

500円の
手数料負担は廃止を

問 医療費の一部負担では、上伊那地域ではすべての市町村が500円の手数料負担を撤廃した。これに倣い、手数料負担は廃止すべきでないか。

村長 県・市町村・受益者が、ともに支えあう制度として定着している。子育て支援は最重要課題、500円の一部負担は、慎重に検討し判断していく。

带状疱疹
ワクチン接種に補助を

問 带状疱疹は80才までに3分の1が発症する病気。不活化ワクチンは予防効果が高いが、費用も高いのが難点である。ワクチン接種補助を求める。

健康福祉課長 带状疱疹ワクチンは任意接種であり、現時点で接種補助は考えていない。国では、定期接種化に向けての検討が進められているので、動向を注視している。

統一教会と接点はあるか

問 統一教会と政治の関係が問題となっている。自民党の国会議員などが、彼らの機関紙に登場するなど、靈感商法被害を拡大させてきた。選挙支援を受けていることも明らかとなった。県内でも関係のあった首長や県会議員もいる。村長は、統一教会とかわりはないか。

村長 一切関係はない。政教分離の原則をしっかりと遵守していきたい。

議会活性化特別委員会
議会報編集特別委員会
合同企画!



今期の議会活性化特別委員会では《村民と議会の距離を縮め、多様な人が立候補すること》を目指して、議会の「見える化」に取り組んでいくことになりました。

そこで今回は、議会報編集特別委員会との企画として、議会モニターよりお2人の女性モニターさんをお呼びして、「今の議会について」「これからの議会について」女性目線で話してみました。その様子をお届けします。

読みやすい議会報に

- 専門用語を解説してほしい。解説コーナーなど。
- 分かりやすい言葉で書いて欲しい。

議会のこと

- 議会って何をしています？
- 議会の決まり事とか、議員にとっては「当たり前」のことでも村民には分からないので、分かるような工夫を。

議員のこと

- 議員は村民の代表。
- 村民も男女半々だから議員ももっと女性が増えて欲しい。
- 女性は立候補しづらい？
- 男女問わず「やる気」のある人にやって欲しい。
- 議員に会って話せる機会が欲しい。

こうしていきます

○読んで分かりやすい議会報の内容づくりに努めます。

○一般質問のYouTube配信が始まりました。(表紙参照)ぜひご覧ください。

- 「議会報告会」の開催について研究していきます。
- 多様な立候補を出すための環境整備について、考えていきます。

今後も議会モニターさん達からご意見いただきながら、議会活性化を推進していきます。

☆かがやけいのちの花

じぶんらしくー☆

高山村に2園目となる保育園を
開園致しました!!



ニツ石区

○なないろのにわ

のの花ほいくえん○

安西美由紀

●出身はどちらですか

須坂市仁礼です。幼い頃から、自然の中で遊ぶことが大好きでした。共に園を創った目黒も出身は同じです。

●高山に移住されたきっかけ、決め手は何でしたか？

あたたかい村の方たち、また村を良くしたい志を持った方々に出会えたこと。

高山村の大自然をずっと見ながら、子ども達と暮らしていきたい、ここで保育

をしていけたら幸せだと感じたから。

●移住に際しての不安・要望は

「地域の方々に愛される園を」と志を持っています。近隣住民の皆様への音の問題など周りのご迷惑にならないかと思っています。また、冬の寒さや雪はどうなのかと思っていますが、まずはこの高山村の生活を楽しんでいきたいです。

要望といいますが、大切な子どもたちを皆さんと助け合って認め合って、愛して育てていける、高山村の仲間になつていきたいです。これからどうぞ、よろしくお願ひ致します。

●今後の目標を教えてください

高山村の自然の中で、常に遊び込む保育を展開していくことで、子ども達の心と身体は豊かに育つていきます。自ら考え、行動していく主体性を伸ばす保育をしていきたいです。

また、生きる力や、周りの存在を認め、信じ、自分を愛する子を育てていきたいと思っています。

子ども達一人ひとり、本当に素晴らしい力を持っているので、そこを周りの大人が信じて、認めて、任せていく中で、子ども達の輝き・生きる力は増していきまます。そして、命や周りの方々に感謝できる心を育てていく保育をしていきたいです。また、この園が皆さんの心の拠り所になるような、そんな場所を創っていききたいです。



編集後記

決算審査を終えて、ふだん何気なく使っている水道や下水道も、多額の予算と労力で維持されていることに気付かされました。

さて、高山村も紅葉が始まり、実りの季節になりました。ぶどうにりんごが美味しく実り、美味しい食べ物があふれています。私事ですが、血糖値が高いと言われ、今心がけていることは、間食をしないこと、つまりしっかり空腹の時間を作ることです。少し体が軽くなった気がします。村民の皆様食欲の秋です。健康で明るくすごしましょう。
(久保田雄吉)

発行責任者

議長 西原 澄夫

議会報編集特別委員会

- 委員長 黒岩 清道
- 副委員長 久保田雄吉
- 委員 柴田 弘男
- 委員 松本 茂
- 委員 沖島 祥介
- 委員 滝澤 聖

発行 / 〒382-8510 長野県高山村議会
編集 / 議会報編集特別委員会
TEL (026) 245-1100
印刷 / ㈱オフセット